



### 『ライトニング・メアリ 竜を発掘した少女』

アンシア・シモンズ || 作 布施 由紀子 || 訳  
カシワイ || 絵  
岩波書店

19世紀のイギリス、赤ん坊の頃に落雷に直撃された少女「稲妻メアリ」は、12歳で世界初の魚竜の化石を発見します。貧しさや階級社会に負けず、押し付けられる常識からはみ出すメアリの生き方は痛快で、科学的探究心と挑戦に満ちています。

発掘した化石に彼女の名前は付けられていませんが、生涯を通じて多くの貴重な発見をしたメアリ・アニングの物語風伝記です。



### 『僕らが学校に行く理由』

渋谷 敦志 || 写真・文  
ポプラ社

紛争や児童労働、人身売買、災害などの理由で、世界には学校に行きたくても行けない子どもたちがいる。過酷な環境の中で学ぶことを諦めずに生きる子どもたちの「今」や、逆境の先に見据える「未来」を、写真から溢れる笑顔とともに感じてほしい。

海の向こうの少年・少女たちと出会うことで、「学ぶことの意義」を考えるきっかけとなる本。



### 『サラリーマン 2.0 週末だけで世界一周』

東松 寛文 || 著  
河出書房新社

広告代理店勤務の著者は、ロサンゼルスへの一人旅をきっかけに海外旅行の楽しさに目覚め、週末だけの海外旅行で「世界一周」に挑戦をし始める。週末旅行に行くためには、仕事の根回しや効率化が必要。働き方が変わると時間の使い方や価値観も変わり、人生がどんどん自分らしいものになっていく。読むだけでワクワクする本。

## 図書館おすすめブックリスト

2023年2月発行

編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで ハートフル充電!!

No.20 中・高校生向け



### 『そのことばが降ってくる 保健室の俳句会』

高柳 克弘 || 作  
ポプラ社

クラスメイトの言葉に傷ついて保健室登校になったソラ、自由奔放で俳句好きなハセオ。そこに弓道部のエースのユミも加わり、接点のなかった3人は句会を開くことに。

俳句に込められた想いと言葉が中学生3人の心に化学反応を起こし、互いを成長させていきます。俳句を通じて、言葉の深さや面白さに気づく本です。





## 『女王さまのワードローブ イギリス国民に愛された女王エリザベスの物語』

ジュリア・ゴールドディング || 文  
ケイト・ヒンドレー || 絵 前沢 明枝 || 訳  
BL 出版

イギリス史上最長の在位記録をもつエリザベス女王の生涯を、ワードローブでたどる絵本です。豪華絢爛な式典のドレスから、第二次世界大戦中に着ていた整備士の作業着まで！女王が多くの国民に愛された理由が、服にまつわるエピソードから感じられます。

緻密なイラストで、それぞれの服の特徴がよくわかりますよ。

## 『給食アンサンブル2』

如月 かずさ || 作  
光村図書出版

推しマンガが突然終了し動揺する朋華、思い通りにいかない部活動に悩む部長・高城、片思いをする千秋など中学2年生6人の葛藤や心の変化が描かれています。

目の前のことや自分の心と全力で向き合う中で、ハヤシライス、クジラの竜田揚げ、ミートボールなど、「給食」がヒントとなって、背中を押してくれます。



## 『夏休みの空欄探し』

似鳥 鶏 || 著  
ポプラ社

クラスの「地味な奴」、だけどクイズが得意な高校2年生・成田頼伸は、夏休みに偶然出会った美少女姉妹と遺産を見つけるための謎解きをすることに。ひよんなことからクラスの中心人物、成田清春も仲間に加わって、ひと夏の冒険が始まる！

ちくはぐな4人が織りなす爽やかな青春ミステリー。君も暗号に挑戦してみよう！

## 『すこしずつの親友』

森荃 こみち || 著  
講談社

「わたし」は親友が欲しい。叔母は「わたし」に、“親友といえる人にいつ出会えるかわからないけど、「すこしずつの親友」なら、すぐに出会える”と教えてくれた。そして、ネパールで付きまといわれた少年や、インドで一緒に列車を待った母子との出会いを話し始める。

日常に息が詰まりそうな人、孤独を誰かと分かち合いたい人に読んでみてほしい。



## 『中学生から知りたいウクライナのこと』

小山 哲 || 著 藤原 辰史 || 著  
ミシマ社

2人の歴史学者が、ウクライナという国の複雑さについて、対話形式でわかりやすく説明する本です。19世紀後半から、ウクライナとロシアは非常に強い緊張関係にありました。二国だけでなく、ポーランドといった周辺国について学ぶことも、広く世界を見るためには重要です。今の現状を正しく知ることができます。



## 『さばの缶づめ、宇宙へいく』

鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』

小坂 康之 || 著 林 公代 || 著  
イースト・プレス

「宇宙食、つくれるんちゃう？」福井県立小浜水産高校（現・若狭高校）の生徒達が作ったさば缶詰は、開発を始めて14年、ついに宇宙食に採用された。

衛生的な宇宙食のための認証を取るのに1億円？そもそも学校は存続できるの？という難問に取り組む熱血教師と生徒達。荒れた高校が宇宙食として通用する缶詰を作り上げるまでの、長い道のりが描かれている。